

シート番号	7101-05	名 称	潮止堰竣工記念碑
分 類	記念碑	場 所	人見 人見 5-1 付近
小 分 類	公共事業碑	メッシュ番号	2217
年 号	和暦：昭和 30 年 9 月 23 日 西暦：1955 年		
形 状	厚板型		
サ イ ズ	本体：76×154×15 c m 台石高さ；15 c m		
画像番号	7101-05-01 (表)	7101-05-02	
			
		潮止堰竣工記念碑	
		昭和 35 年ごろの潮止め堰	
<p>コメント；碑文</p> <p>前略……本堰の創始は、年々の干害に苦しめられた神門部落の天水田 20 餘町の改良に発した。…… 中略 ……</p> <p>石油発動機による揚水施設の実現を見た。しかるに、小糸川の河床年毎に低下し海水の逆流による塩害耕地は、君津・飯野・青堀・富津の 250 町歩の広さに及んだ。これが救済のため、昭和 13 年に可動式の潮止め堰が竣工して、其の効果を發揮したが、昭和 20 年 8 月の大洪水に本堰は、基礎より破壊されたために完全締切の方途なく、これが根本施策は関係農民の悲願であった堅固なる熱意は、時あたかも終戦後の混乱期で、資材難、資金難の悪条件を克服し、小糸川沿岸普通水利組合の英断により三島ダム建設工事の一環として、千葉県営事業に承認され昭和 24 年 5 月起工翌昭和 25 年 12 月完成した。事業資金 1,350 万円・使用資材鉄類 33 トン・セメント 242 トン・石類 2,040 トン・木材 3,420 石~後略</p> <p>『参考：神門雑記』碑文は次ページです。</p>			

潮止堰竣工記念

本堰ノ創始八年々ノ旱害ニ苦シメラレタ神門部落ノ天水田二十餘町ノ改良に發シタ偶明治廿七年ハ稀有ノ大旱魃デ其ノ被害激甚デアッタノニ鑑ミ用水施設要望ノ輿論ハ其ノ極ニ達シタ直チニ実施計畫ガ樹立サレ翌廿八年ニハ待望ノ水車ガ設ケラレ小糸川ノ用水ニ成功シタ爾來安定シタ當農ガ続ケラレタガ大正十二年ノ関東大震災ハ之ヲ根底ヨリ覆滅シ之ガ對策トシテ石油發動機ニヨル揚水施設ノ實現ヲ見タ然ルニ小糸川ノ河床年毎ニ低下シ海水ノ逆流ニ因ル塩害耕地ハ君津町青堀町飯野村富津町ノ二百五十餘町ノ廣地ニ及ンダ之ガ救済ノ為昭和十三年ニ可動式潮止堰ガ竣工シ其効果ヲ發揮シタガ昭和二十年八月ノ大洪水ニ本堰ハ基礎ヨリ破壊サレ為ニ完全締切ノ方途ナク之ガ根本施策ハ關係農民ノ悲願デアッタ其ノ鞏固ナル熱意ハ時恰モ終戦後ノ混亂期デ資材難資金難ノ惡条件ヲ克服シ小糸川沿岸普通水利組合ノ英断ニヨリ三島ダム建設工事の一環トシテ千葉県營事業ニ承認サレ昭和廿四年五月起工翌廿五年十二月完成シタ事業費金壹千三百五十萬圓使用資材鉄類三三噸セメント二四二屯石類二〇四〇屯木材三四二〇石

小糸川沿岸普通水利組合管理者

高野太平

石川光次

宮川豊八

切替勝太郎

〇〇黒河内茂樹

全伊藤秀雄

所長 山田建次 全鈴木倉吉

潮止堰推進同盟

會長 天笠久治

副會長 平野光次 全山田作次郎

促進委員

佐野菊蔵

平野孝治

保坂林三

濱本仲二郎

鳥居三之助

宮川寅吉

廣尾 雄

石井浜吉

佐野吉五郎

杉本市蔵

今木義夫

齊藤清次郎

鹿島市郎

山田篤治

桐澤忠雄

市五郎

高橋実根吉

山田巳之吉

大助

高橋清一

鹿島吉次

香取正二

全金沢信吉

事務主任

伊藤喜久三

昭和三十年九月廿三日

馬込水利組合

須藤俊雄書

青堀水利組合

白井弘年鐫

飯野

青堀水利組合